

# くらしの10年ロードマップ°（概要）

令和6年2月 デコ活応援団（新国民運動・官民連携協議会）

初めて**国民・消費者目線**で、**脱炭素につながる豊かな暮らしの道筋**（課題と仕掛け）を**全領域**（衣食住・職・移動・買物）で明らかにし、**官民連携**により行動変容・ライフスタイル転換を促進

## 国民にとってのボトルネック

**意欲**

- 導入メリット・意義が不明
- 昔のイメージのまま敬遠
- 手間・難しさの忌避感
- 問題への理解・関心不足

**実践**

- 初期費用・大規模支出
- 導入に時間がかかる
- 機会・情報が限定・不十分
- 慣習・制度が実践を妨げ

## 課題解消に向けた仕掛け（主な対策）

|                                             | 2024~2026 | 2027~2029 | 2030~ |
|---------------------------------------------|-----------|-----------|-------|
| メリット・意義、最新情報を導入機会と同時に伝達（商業・公共施設等を体験・体感の場に）  |           |           |       |
| 新築/既存住宅リフォーム+太陽光発電設備・高効率給湯器等のパッケージ化         |           |           | 住     |
| 商品・ブランド別のエシカル度の見える化                         |           |           | 衣     |
| サステナブルツアー（出張・旅行 等）、カーボンオフセット付き旅行保険等         |           |           | 移     |
| 科学的情報等を行動とセットで提供（DXを活用したワクワク感、楽しさなどの動機付け）   |           |           | 基盤    |
| サブスクリプション型サービスやPPA・リース、環境配慮型ローン等の提供拡大       |           |           |       |
| 公的支援情報を分かりやすく提供し、複数補助制度の一括申請の受付を拡大          |           |           | 住     |
| 通常リフォームに合わせた+aの断熱、家電販売時の省エネ・再エネのパッケージ提案     |           |           | 住     |
| リペア、アップサイクル・染め直し等、衣類の交換会、回収リサイクルの場の拡大       |           |           | 衣     |
| フードシェアリング、フードライブ・フードバンク活動、エシカル商品サービス等の拡大    |           |           | 買・食   |
| テレワークとマッチするよう必要に応じてルール見直し、必要なサービス・インフラ・情報提供 |           |           | 職     |
| データ活用した行動見える化、デマンドレスポンス、住民・従業員へのインセンティブ拡大   |           |           | 基盤    |
| 費用対効果に優れた気付き・ナッジの提供                         |           |           | 基盤    |

行動制約

行動変容・ライフスタイル転換

# ロードマップのスコープ (暮らし全領域を大きく7分野に)

## 脱炭素につながる新しい豊かな暮らしの10年後

- 1 住[外] 住宅の省エネ化・再エネ導入 (断熱化、太陽光発電 等)
- 2 住[内] エコグッズの選択 (LED、家電、給湯、節水 等)
- 3 衣 クールビズ・ウォームビズ、サステナブルファッションの実践
- 4 買・食 地産地消、適量購入・食べきりごみの削減・分別
- 5 職 テレワークの実践
- 6 移 電動車の購入 環境負荷がより少ない移動手段の選択
- 7 基盤 情報 (教育・ナッジ) インセンティブ

